“その時”誰かがいるとは限りません。
あなたに代わって、大切な命の情報を伝えます。

救急医療情報キット

救急医療情報キットとは？

高齢者や障がい者などの安全・安心を確保することを目的に、名前や生年月日をはじめ、「かかりつけ医」「薬剤情報提供書（写）」「持病」などの医療情報や、「診察券（写）」「健康保険証（写）」などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、必要な情報が迅速かつ的確に救急隊員や病院関係者に伝えられ、救命処置に役立てられるように備えるものです。

救急医療の現場では、秒単位の差が生死を分けることも少なくありません。

紀宝町でも高齢化は年々進行しており、中でも一人暮らしの高齢者や認知症高齢者が増加しているため、緊急時の対応に不安を抱えている高齢者が多くみられます。

緊急時に、患者さんの生存率を高めるためには、既往症や服用薬などの情報を医療現場に正確に早く伝えることがポイントになります。

そこで町では、65歳以上の一人暮らしの方を対象に**「救急医療情報キット」**を無償配布し、利用支援を開始します。

町のいたるところで、昨年の台風12号災害の爪痕が残っており、水害に対する不安はぬぐえませんが、一方で、水害を機に地域のみんなで声をかけ合い、助け合いの意識が高まり、自主的な地区活動も始まっています。このキットは、災害時の避難誘導や医療にも必ず役立つ情報となるため、平時の見守り活動にも役立ててもらいたいとも考えています。

もしもの時に備えて、この機会にぜひ準備していただきたいと思います。

― 救急医療情報キットの活用例 ―

- 119番：お年寄りが具合が悪くなり119番へ電話
- シール確認：救急隊が自宅へ到着 玄関ドアの裏側に貼られてある救急医療マークシールを確認
- シール確認：救急隊 冷蔵庫に貼られてある救急医療マークシールを確認
- キット取り出す：救急隊 冷蔵庫の中にあるキットを取り出す
- キット中身確認：救急隊 キットの中身を確認し情報を入手する
- 搬送：お年寄りに適切な処置をして病院へ搬送する
- 病院へ

救急医療情報キットに入れるものは？

❶救急情報用紙
・緊急連絡先
・かかりつけ医
・緊急時の対応方法
などを記載

❷写真
本人が確認できるもの

❸健康保険証（写）

国民健康保険 被保険者証
記号 ○○○○○ 番号 ○○○○○
氏名 ○田太郎
生年月日 ○年○月○日 性別 男
住所 紀宝町○○○○番地
世帯主氏名 ○田太郎
資格取得日 ○年○月○日
交付年月日 ○年○月○日
保険者番号 ○○○○ 保険者名 ○○○○

❹診察券（写）

診察券 ○○○○病院
○○県○○町○○○○○
TEL ○○○○-○○-○○○○
番号○○○○○○○○○ ○田 太郎

❺薬剤情報提供書（写）お薬手帳（写）

薬剤情報提供書

無償配布セット内容

◆救急情報用紙　1枚
◆救急医療マークシール　2枚
◆プラスチック容器
◆取扱説明書

救急医療情報キットセッティングの手順

①容器の中に入れる上記のものを用意する。
②用意したものを容器に入れ、冷蔵庫の目立つ場所に保管する。
③救急医療マークシールを、冷蔵庫の扉と玄関ドアの内側にそれぞれ貼る

配布方法

◆対象者
一人暮らしの65歳以上の方。（今後はこの他、高齢者のみの世帯や障がい者等、援護が必要な人も対象とする。住民票の有無は問わない。）

◆申し込みおよび配布
紀宝町地域包括支援センター（役場本庁舎）と移動支所で、対象者と確認できれば、その場で救急キットを配布します。

◆備考
・救急情報用紙を1人で記入することが困難な方は、地域包括支援センター職員や民生委員が訪問してお手伝いします。地域包括支援センターや地区担当民生委員までご連絡ください。
・希望される方には、写真撮影や、保険証・診察券等の写しのサービスを行います。
・介護認定を受けられて、担当ケアマネジャーがおられる方は、ケアマネジャーが支援します。
・受け取りに来られない方には、後日ご自宅に訪問させていただきます。

▼詳しくは、紀宝町地域包括支援センター（☎33－0175）までお問い合わせください。